

No. \_\_\_\_\_

領 収 証

木村久雄 様

¥ 2,500-

但 地域型バイオマスフォーラム 参加費として

2019年 7月19日 上記正に領収いたしました。

共催 7 団体幹事

NPO法人 農都会議 (消費税非課税団体)

東京都港区浜松町2丁目2番15号



研修 木村久雄 議員

日時: 令和元年7月19日(金)

場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター セミナーホール  
(東京都渋谷区代々木神園町3-1 センター棟4階)

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅～参宮橋駅	鉄道	往復	201.2	2,520	2,060			4,580
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
								0
計				2,520	2,060	0	0	4,580

宿泊料@16,500×0泊	0 円
交通費	4,580 円
(うち航空運賃)	0 円)
計	4,580 円

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長 恩田 俊彦 

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。





領 収 書

木村久雄 様

¥ 1 , 0 0 0 -

ただし、両毛六市議員懇談会研修会出席者負担金として領収いたしました。

令和2年1月24日

両毛六市議員懇談会

会 長 星 野 一 広





# 領 収 書

木 村 久 雄 様

¥ 1,000-

ただし、両毛六市議会議長会議員研修会負担金として  
上記金額を領収いたしました。

令和2年2月3日

両毛六市議会議長会会長

佐野市議会議長 春 山 敏 明



# 地域型バイオマスフォーラム

## ～バイオマス分散型エネルギー創出 による地域サービスを考える～

〔7団体共催〕

一般社団法人日本有機資源協会

バイオガス事業推進協議会

一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会

一般社団法人日本サステイナブルコミュニティ協会

一般社団法人日本シュタットベルケネットワーク

NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク

NPO 法人農都会議

■日時 2019年7月19日（金）13:00～17:00

■会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

## ■ プログラム

【開会挨拶】 13:00~13:15

・東京大学公共政策大学院客員教授、野村総合研究所 顧問 増田寛也氏

【第1部 基調講演】 13:15~14:35

・環境省大臣官房環境計画課 計画官、前長野県副知事 中島恵理氏

「バイオマスを活用した長野県の地域循環共生圏の取組」

・東京大学未来ビジョン研究センター教授 高村ゆかり氏

「再生可能エネルギーの現状と政策課題 地域型バイオマスへの期待」

14:35~14:50 休憩

【第2部 パネルディスカッション】 14:50~16:45

モデレーター:

・NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク 理事長 泊みゆき氏

パネリスト:

・東京工業大学特命教授・先進エネルギー国際研究センター長 柏木孝夫氏

・群馬県上野村 前村長 神田強平氏

・一般社団法人徳島地域エネルギー 常務理事 羽里信和氏

・NPO 法人九州バイオマスフォーラム 事務局長 中坊真氏

・一般社団法人日本有機資源協会 事務局長 嶋本浩治氏

・バイオガス事業推進協議会 事務局次長 小川孝正氏

・一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会 副会長 加藤鐵夫氏

・持続可能経済協会代表、日本サステイナブルコミュニティ協会発起人 熊野英介氏

【講評】 16:45~16:55

・一般社団法人日本シュタットベルケネットワーク 理事 村岡元司氏

閉会挨拶: NPO 法人農都会議 代表理事 杉浦英世氏

## ● 協力

一般社団法人徳島地域エネルギー、NPO 法人九州バイオマスフォーラム、岩手・木質バイオマス研究会、持続可能経済協会、一般社団法人日本木質ペレット協会、NPO 法人蔵前バイオエネルギー、ちば里山・バイオマス協議会、飯能木質バイオマスエネルギー協議会、いばらき里山・バイオマス協議会、ほか



## ■ 登壇者の紹介

### 増田 寛也（ますだ ひろや）氏

一般社団法人日本サステイナブルコミュニティ協会代表理事会長。1951年東京都生まれ。東京大学法学部卒業後、建設省入省。1994年建設省建設経済局建設業課紛争調整官にて退官。1995年岩手県知事(3期)、2007年総務大臣、2014年まち・ひと・しごと創生会議メンバー。著書に、『東京消滅—一介護破綻と地方移住』、『地方消滅【東京一極集中が招く人口急減】』、『地方創生ビジネスの教科書』など。



### 中島 恵理（なかじま えり）氏

1995年環境庁入庁。1999年英国留学、ケンブリッジ大学修士・オックスフォード大学修士卒。2001年以降、環境省、資源エネルギー庁及び長野県にて再生可能エネルギー推進政策に関わる。著書に、『ビジネスの魅力を高める自然エネルギー活用術』、『英国の持続可能な地域づくり』、『田園サステイナブルライフ』など。



### 高村 ゆかり（たかむら ゆかり）氏

島根県生まれ。専門は国際法学・環境法学。京都大学卒。龍谷大学教授、名古屋大学大学院教授などを経て現職。日本学術会議会員、再生可能エネルギー固定価格買取制度調達価格等算定委員会委員、中央環境審議会委員などを務める。『気候変動政策のダイナミズム』『気候変動と国際協調—京都議定書と多国間協調の行方』など著書多数。



### 泊 みゆき（とまり みゆき）氏

京都府京丹後市出身。日本大学大学院国際関係研究科修了。富士総合研究所で10年以上、環境問題、社会問題についてのリサーチに携わる。1999年「バイオマス産業社会ネットワーク」を設立、共同代表に就任。2004年NPO法人化。経済産業省バイオ燃料持続可能性研究会委員、関東学院大学非常勤講師ほか。著書に『バイオマス 本当の話』、『バイオマス産業社会』(共著)ほか。



### 柏木 孝夫（かしわぎ たかお）氏

東京工業大学工学部生産機械工学科卒。米国商務省NBS招聘研究員、東京工業大学工学部助教授、東京農工大学大学院教授を経て、2007年より東京工業大学大学院教授。経済産業省総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員など数多くの委員を務め、長年、国のエネルギー政策づくりに深く関わる。エネルギー・環境分野で最も権威のある国際賞「The Georg Alefeld Memorial Award」をアジアで初受賞。著書に『超スマートエネルギー社会 5.0』、『コージェネ革命』など。



### 神田 強平（かんだ きょうへい）氏

1968年上野村役場へ入職。総務課長、事務業部長、産業振興対策担当理事等を歴任。2009年村長選挙に立候補し当選。黒澤丈夫村長の教えを胸に、役場での経験を元に、森林・林業を活かすことで都市から多くのU・Iターン者を迎えて過疎に歯止めをかけるなどの施策を次々と打ち出し、上野村の奇跡と注目される。2017年上野村長を退任、後進に道を譲る。



### 羽里 信和（はりのぶかず）氏

徳島県庁在職中に徳島木質バイオマス研究会を立上げ、オーストリアからのボイラー輸入を誘導し設置を支援。乾燥チップボイラー設置技術を国内導入する。徳島にバイオマスラボを設置し後進の育成に努めている。主な研究・プロジェクトは、「木質バイオマス地域アライアンス」による小規模バイオマスボイラー(熱利用)の導入支援。



## 中坊 真（なかぼう まこと）氏

1972年京都府生まれ。大学院で火山物理学を専攻し、阿蘇火山の観測中に草原のススキのエネルギー利用に関心を持ったことがきっかけで、九州バイオマスフォーラム設立に携わる。2003年からNEDOの事業として、草原の草のガス化発電事業を実施。草資源・森林資源・家畜排せつ物・生ごみの活用など、阿蘇地域を中心に幅広くバイオマス全般の利用の仕組みづくりを進めている。



## 嶋本 浩治（しまもと こうじ）氏

1971年和歌山市生まれ。2000年日本有機資源協会(JORA)設立後 民間企業より出向。2003年日本有機資源協会事務局参与、2014年事務局長。バイオマス利活用計画策定、バイオマス関連調査等に従事。現在 JORA 業務の他、バイオマス産業都市推進協議会の事務局を担当。



## 小川 幸正（おがわ ゆきまさ）氏

1951年横浜市生まれ。一般社団法人地域環境資源センターバイオマス技術部特別研究員。工学博士、技術士(衛生工学部門)、環境計量士。畜産ふん尿や食品残渣を原料とするバイオガスプラントの建設及び運転データの解析を経験。主にバイオガス事業の支援を担当。



## 加藤 鐵夫（かとう てつお）氏

1970年農林省入省、2001年林野庁長官就任。独立行政法人農林漁業信用基金副理事長、財団法人国際緑化推進センター理事長、一般社団法人日本森林技術協会理事長を歴任し、「持続可能な森林経営研究会」立上げ、「森林・林業基本法」制定(2003年)に尽力。



## 熊野 英介（くまの えいすけ）氏

アマタホールディングス会長兼社長。「持続可能社会の実現」を掲げ、他社に先駆け100%リサイクル事業を開始。企業・自治体向けに持続性を高める統合サービスを展開。環境管理業務のアウトソーシングから森林・里山の利活用を含めた地域循環のモデル構築まで多岐にわたる。未来の子供たちの尊厳を守ることをミッションに、豊かな関係性が動力となる新たな社会創出に向けて邁進中。



## 村岡 元司（むらおか もとし）氏

株式会社NTTデータ経営研究所社会基盤事業本部本部長・パートナー、早稲田大学環境総合研究センター客員研究員。『PFI ビジネス参入の戦略』、『成功する！地方発ビジネスの進め方』、『詳解 排出権信託 制度設計と活用事例』、『バイオマス発電の最新技術』、『環境ビジネスのいま』、『スマートエネルギーネットワーク最前線』など共著多数。



※本フォーラムの報告は、<https://719forum.peatix.com>

（共通案内ページ）へ近々、概要をアップいたします。

※お問い合わせは、共催7団体の各事務局へお願いいたします。



## ■ 交流会 17:30～「カフェ フレンズ」

国立オリンピック記念青少年センター センター棟2階

TEL: 03-3467-7203 お一人2,000円(軽食付き)

※カフェの受付は混雑しますので、あらかじめフォーラムの受付で交流会費をお支払いください。

栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター講演会

# 『ひきこもりの現状を踏まえた心理的支援』

◆ 日時 令和元年9月14日(土曜日) 13:30~15:30

◆ 場所 栃木県庁東館4階 講堂

◆ 講師 宮崎大学教育学部准教授 境 <sup>もとひろ</sup>泉洋 氏

## プログラム

1. 主催者あいさつ
2. 栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター ポラリス★とちぎの紹介
3. 講師紹介
4. 講演『ひきこもりの現状を踏まえた心理的支援』
5. 質疑応答



# 令和元年度 肝疾患コーディネーター養成研修会

肝炎は国内最大級の感染症で、適切な治療を行わないまま放置すると肝硬変や肝がん等重篤な病態へと進行する恐れのある疾患です。そのため、早期発見・早期治療が最大の課題となっていますが、栃木県内においても、肝炎ウイルスキャリアであることを知らずに適切な治療を受けていない方が多く存在すると考えられています。その対策として栃木県は、肝炎ウイルス検査の受検を推奨し、検査陽性者を適切な治療へ導くためのアドバイスを行うとともに、肝疾患患者やその家族の相談を受けることのできる専門知識を持つ「肝疾患コーディネーター」を養成しております(現在404名が認定)。今回この肝疾患コーディネーターを養成することを目的として、第6回研修会を開催します。

## ◇受講対象者◇

- ・ 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者
- ・ 保健師等の保健所又は市町の肝炎対策担当者
- ・ 産業医等の企業又は団体の健康管理担当者
- ・ 肝炎患者又はその家族、その他肝炎の予防及び肝炎患者の支援の推進に意欲を有する方

## ◇募集人数◇ 100名程度

## ◇受講料◇ 無料

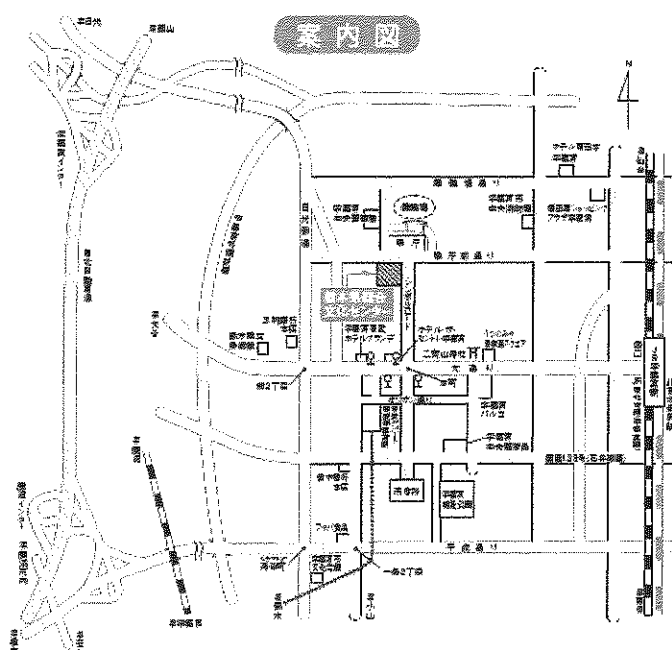
## ◇日時・会場◇

令和元(2019)年9月28日(土) 午前10時30分から午後16時10分まで(受付開始:午前10時)

栃木県総合文化センター 特別会議室(宇都宮市本町1-8) URL:<http://www.sobun-tochigi.jp/>

※来場の際は、できるだけ公共交通機関を御利用ください。

お車で来場される場合は、県庁地下駐車場(無料)を利用できます。詳細は、別紙2を参照ください。



## ◇研修内容 (プログラム) ◇

午前の部 (10:30~12:10)	開会挨拶
	オリエンテーション
	B型肝炎の病態と治療
	C型肝炎の病態と治療
昼食 (12:10~13:10)	休憩 (60分)
午後の部 (13:10~16:10)	ウイルス性肝炎以外の肝疾患
	肝硬変の治療と生活指導
	肝癌の治療
	栃木県における肝疾患対策について
	認定試験
	コーディネーターに期待される役割
	閉会挨拶

※講義形式の研修になります。

※研修の最後に認定試験を行い、合格者には認定証を後日送付します。

※当日は、筆記用具 (鉛筆、消しゴム) 及び昼食を御持参ください。

## ◇申し込み方法◇

別紙の申込書にて FAX 又はメールにてお申し込みください。

申し込み締め切り：令和元 (2019) 年 8 月 16 日 (金) 必着

※既にコーディネーターとして認定された方の再受講も可能です。

再受講については、一部の講義のみを受講することもできますので、申し込み時に希望する講義を御記載ください。

たくさんの方の御参加を  
お待ちしております！



## ◇お問い合わせ先◇

栃木県保健福祉部健康増進課 感染症・新型インフルエンザ対策担当

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

電話：028-623-3089 (直通) FAX：028-623-3920

メール：kenko-zoshin@pref.tochigi.lg.jp



2019年度 栃木県肝疾患コーディネーター養成研修会

プログラム

令和元年9月28日(土) 午前10:30～午後4:10

栃木県総合文化センター特別会議室

1. 開会挨拶 (5分) 10:30-10:35

自治医科大学 消化器内科 磯田 憲夫

2. オリエンテーション (15分) 10:35-10:50

自治医科大学 消化器内科 森本 直樹

3. B型肝炎の病態と治療 (40分) 10:50-11:30

済生会宇都宮病院 消化器内科 田原 利行

4. C型肝炎の病態と治療 (40分) 11:30-12:10

那須赤十字病院 消化器内科 佐藤 隆

休憩・昼食 (60分) 12:10-13:10

5. ウイルス性肝炎以外の肝疾患 (40分) 13:10-13:50

獨協医科大学 消化器内科 飯島 誠

6. 肝硬変の治療と生活指導 (40分) 13:50-14:30

佐野厚生総合病院 消化器内科 岡村 幸重

7. 肝癌の診断と治療 (40分) 14:30-15:10

自治医科大学 消化器内科 磯田 憲夫

8. 栃木県における肝疾患対策について (20分) 15:10-15:30

県健康増進課 新井 和男

休憩 (10分) 15:30-15:40

9. 認定試験 (15分) 15:40-15:55

10. コーディネーターに期待される役割 (10分) 15:55-16:05

自治医科大学 消化器内科 森本 直樹

11. 閉会挨拶 (5分) 16:05-16:10

獨協医科大学 消化器内科 飯島 誠

令和2年1月24日(金)

於：太田市

---

# 両毛六市議員懇談会研修会

---

両毛六市議員懇談会

## 両毛六市議員懇談会研修会 開会式 次第

日 時 令和2年1月24日(金)  
午前10時00分 開会  
場 所 マリエール太田2階  
「チェルシーピア」

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

両毛六市議員懇談会 会長 星野 一広

### 3 来賓祝辞

太田市長	清水 聖義 様
太田市議会議長	久保田 俊 様

### 4 日程説明及び講師紹介

#### (1) 日程説明

- ① 分科会 (午前10時30分～正午)
- ② 昼食会 (午後0時10分～午後1時00分)  
<移動 20分程度>
- ③ 現地視察 (午後1時00分～午後3時00分)  
視察先: 太田市民会館

#### (2) 分科会講師紹介

### 5 閉 会

令和 2 年 2 月 3 日  
於：ホテル マリアージュ仙水

---

# 両毛六市議会議長会 議員研修会

---

両毛六市議会議長会



# 両毛六市議会議長会議員研修会 次第

日 時：令和2年2月3日（月）

午前10時30分～

場 所：ホテル マリアージュ仙水

1階 耀

## 1 開 会

## 2 会長挨拶

## 3 来賓祝辞

## 4 講師紹介

## 5 講 演

演 題：議会基本条例の活かし方

講 師：元衆議院法制局参事

よしだ としひろ  
吉田 利宏 氏

## 6 謝 辞

## 7 閉 会